舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2020.7.31 №5

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

１学期中のご協力をありがとうございました

「マスクでも良い表情」で行った５月２５日の始業式から６８日間、授業日数で４８日間の１学期が終わりました。コロナ禍の中、臨時休業中は教科書や教材配布へのご協力をいただいたこと、学校が半日で再開された時には、ご家庭で午後のご指導をいただいたこと、学校開放日には大勢の方においでいただき、子ども達の様子をご覧いただけたこと等、これまでとは異なる学校生活を送ってきた子ども達でしたが、終業式を迎えることができたのも、これまでの保護者や地域の皆様のご理解とご協力の賜と思います。１学期中のご協力に改めて感謝申し上げます。

このような変則的な学校の再開により、子ども達はこれまで様々な面でストレスを抱えてきたと思います。２学期は８月１８日から始まり今年の夏休みは１７日間と短いですが、家庭や地域で過ごす時間を大切にしていただき、心も体もリフレッシュできるよう、子ども達のご支援をお願いいたします。

「甲府の子どもの教育」総合推進校に指定されました

甲府市では、「自分に対しての思いやり・他人に対しての思いやり・集団や社会に対しての思いやり・自然に対しての思いやり」という「子どもの思いやりの心」と子どもの教育の担い手である親・教師・一般の大人の「子どもを思いやる心」を形にしたとき、２１世紀をになう甲府の子どもの教育の中心に「思い遣る心」を据えました。

そのような中、本校は、本年度から甲府市より「甲府の子どもの教育総合推進校」という研究指定を受けて、「思い遣る心」の醸成、「ＩＣＴ活用を含めた学力向上」に取り組んでいます。

日々の子ども達の様子を見ていると、場面場面で子ども達の「思い遣る心」の萌芽をたくさん見つけることができます。

たとえば、廊下を通っているとき、子ども達がトイレから出てきました。すると、一人の男の子が「スリッパをそろえるんだよ。」と言って、散らばっていたスリッパをそろえてくれました。とても、爽やかな対応に感心して「とても素晴らしいね。」と思わず声かけをし、さすが舞鶴の子と思いました。

また、梅雨の雨空が続き、傘を手放すことができない日が続きました。学校が終わると子ども達は、学年で集まっての下校となります。様子を見ていると、子ども達は決められたとおり、しっかりと並んで下校しています。当たり前のことを当たり前にできる素晴らしい力を子ども達は持っていると思いました。

他にも、登校時は１年生の指導を玄関でしていますが、雨の朝、傘をたたむお手伝いをしたところ、１年生の女の子から「ありがとうございます。」とお礼を言われ、さらに頭を深々と下げられました。お家の方の指導が生きていると感心し、心が温まる思いで「こちらこそ、ありがとう」とお礼を言いました。

私たちは、子どもに寄りそい、子どもと共に歩みながら、素敵な舞鶴の子ども達の「思い遣る心」を醸成していきたいと思います。

学力向上については、先生方は「動き出したくなる課題設定の工夫」をテーマに研究を進めています。例えば３年生には障害物走がありますが、体育でも学力は必要です。「動き出したくなる課題」を「リズム良く走ることができる」として、目標タイムをあらかじめ設定し、これに近づくよう、自分の歩幅を考えてハードルの間隔の異なるコースを選び、走るリズムを調整しながら取り組みました。また、次の時間の改善点を考えるために、授業後にはＩＣＴ活用としてビデオでフォームを確認しました。研究を深めるため、来年度は、西中学区の３校で、拡大研究会を行う予定です。

１年生へメダルのプレゼント

本年度は１年生を迎える会を実施できなかったので、６年生から１年生へ入学おめでとうの気持ちを込めて、メダルをプレゼントしました。１年生からは「ぼくの顔に似ている～。」ととてもうれしそうな言葉があふれました。１年生は、朝の会が終わるまでメダルを付けていたそうです。６年生は最上級生として忙しいのですが、「思い遣る心」を持って、１年生のために頑張ってくれました。

「まいづる未来子ども教室」が始まりました

例年行っていた「まいづる未来こども教室」も今年はコロナ禍のため延期されていましたが、やっと再開されました。大勢のスタッフに見守られ、楽しく活動ができるものと思います。こどもが輝くまちの実現を目指すことを目的とした「甲府市子ども未来応援条例」も施行されました。子ども達の学ぶ場所は、学校を含め、この舞鶴地区です。様々な地域の活動に参加することで社会性が育つものと思いますので、楽しい教室になることを期待しています。

「七夕」へ願いを込めて

市ＰＴＡ連合から、七夕飾り用の笹をいただきました。各階のコモンスペースに飾り、五色の短冊に願いを込めて、笹に飾りました。「お母さんのような優しい保育士、幼稚園の先生になりたいです。」に、温かいご家庭の姿が浮かびました。「新型コロナウィルスが治まって、世界中の人たちが平和に暮らせますように。」には、思わず胸が熱くなりました。市Ｐ連の皆様の「思い遣る心」に舞鶴の子ども達の「思い遣る心」が醸し出されたと思います。

「学校開放日」への参加をありがとうございました。

例年行っている授業参観については、密になってしまうことから、今年度は行わないことにしました。かわりに子ども達の姿を見ていただこうと６月２５日と７月７日に学校開放日を設定しました。感染防止対策として３密を避けるための人数制限、玄関での検温、マスク着用、距離をとっての参観等をお願いしました。教室では、子ども達のふだんの様子を見ていただくため、家庭科や外国語授業など専科の先生の授業もありました。今回は、コロナ対策のため希望された保護者のみでしたが、コロナ禍が落ち着きましたら、地域の方にも学校開放していきたいと思います。その時は、改めてご案内したいと思います。

１学期終業式～明日から夏休み～

例年、体育館で行う終業式ですが今年度は校内テレビ放送となりました。コロナ禍の中、４・５月は家庭で過ごす時間となり、登校が決まっても様々な規制があり「新しい学校様式」の中で過ごすこととなりました。それでも、学校に子ども達の声が戻って来たことを有り難く思います。様々な環境の変化がありましたが、終業式での発表を聞きながら、本当に子ども達は、よく頑張ったと思いました。２学期の始業式で元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。有意義な夏休みをお過ごしください。

暑さに負けない健康な体つくりを

心身の目覚めにとって体を動かすことは、とても大切です。短い夏休みですが、各地区で「ラジオ体操」を行う予定とのことです。「はやね・はやおき・あさごはんとトイレ」です。ご家族で、参加してみてはいかがでしょうか。場所や時間は、各地区の役員さんに確認してください。

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。